

技術検討会「セキュリティ」

世話役 中嶋卓雄(東海大学名誉教授)

1 事業概要

目的	マルウェアなどのサイバー攻撃の標的とされる脆弱性について、具体的な事例に基づき、その原理を学習する。 脆弱性についてオープンソースのツールを利用して実際に診断する技術を習得する。 セキュアなプログラミングについて、基本的な手法および開発環境の設定などについて学習する。一部は、生成系AIの技術との連携も検討する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ マルウェアなどのサイバー攻撃の具体的な事例の理解 ◆ 脆弱性発見のためのツールの利用技術の理解 ◆ セキュアプログラミング技術の修得
計画	毎月1, 2回程度、サイバー攻撃の理解をへて、体験形式のツール操作と講習会形式の技術検討会を開催する
キーワード	サイバー攻撃手法、マルウェア解析、脆弱性診断、セキュアプログラミング
目標及びその進め方	<p>マルウェアなどのサイバー攻撃の標的とされる脆弱性、特にWebシステムに関する脆弱性の仕組みを理解し、具体的にその脆弱性を発見するオープンソースのツールのインストールおよび利用方法を学び、脆弱性診断の初歩的なステップを理解する。さらに、セキュリティ的に強固なシステム開発のための、セキュリティプログラミングについて学習する。</p> <p>①参加者のインターネット、OS、サーバシステムなどの理解力を把握し、具体的なマルウェアなどのサイバー攻撃のタイプを選択する。 ②選択したサイバー攻撃が実現される方法、攻撃手法について理解する。 ③具体的に、システムの変更を実技として組み込みながら、サイバー攻撃の防御の手法を理解する。 ④防御のためのセキュリティプログラミングについて理解する。</p> <p>・産業技術センター等と協力して、セキュリティ分野の技術力向上につなげていく。</p> <p>コーディネート役は熊本高専(八代キャンパス)の小島俊輔氏</p>
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティエンジニア ● ウェブエンジニア ● システム開発エンジニア
会員	随時募集する

2 支出計画

単位:千円

	RIST負担分					備考
	設備費	原材料費	消耗品費	その他	合計	
予算	50			250	300	

3 予算積算

(単位:千円)

	品名	単価	個数	価格	備考
設備費	脆弱性ホスト構築セット	50	1	50	
原材料費				0	
消耗品費				0	
その他	講師旅費・謝金、会場費など	250	1	250	
合計				300	